

「(仮称)子ども憲章」素案に対する市民意見の 募集結果について

1 意見募集期間

令和6年9月1日(日) から 9月30日(月)まで (30日間)

2 意見提出状況

(1) 提出者 130人

(2) 提出意見数 219件

(3) 提出方法

方法	電子申請	電子メール	郵送等
人数	9人	2人	119人
件数	29件	8件	182件

(4) 提出された意見の内訳

項目	件数
「(仮称)子ども憲章」全体	62件
タイトル 北九州市こどもまんなか「にこにこスイッチ！」	13件
前文	2件
アクション	140件
アクション全体	34件
アクション1 こどもがいたら、みんなで「にこにこスイッチ」オン！	33件
アクション2 こどもとは、大人がひざをかがめて「同じ目線」で	32件
アクション3 こどもを諭(さと)すときには「愛情いちばん」	15件
アクション4 子育ては時に大変なことも。やさしく伝える「大丈夫」	12件
アクション5 こどもの周りには、いつもたくさんの「ありがとう」	14件
その他	2件

3 素案への反映状況

分類	件数
1 既に記載済	159件
2 追加・修正あり	15件
3 今後の参考とするもの	27件
4 追加・修正なし	16件
5 その他	2件

4 市民意見を踏まえた修正点

(1) タイトル（北九州市こどもまんなか「にこにこスイッチ！」）

（主な市民意見）

- ・この言葉を聞くと5つのアクションを思い出すような題名がいい
- ・名称を「こどもまんなかスイッチ」にしてはどうか

→「市の考え方」

タイトルを5つのアクションにつながるような表現に修正

修正前	修正後
北九州市こどもまんなか 「にこにこスイッチ！」	<u>こどもまんなか city の合言葉</u> <u>北九州市こどもまんなかスイッチ</u> ※タイトル変更に合わせ、前文も微修正

(2) アクション「2」（こどもとは、大人がひざをかがめて「同じ目線」で）

（主な市民意見）

- ・前文を読むと、5つのアクションは全部、大人がするものと思っていたが、「大人がひざをかがめて」と、ここだけ「大人が」が入っているので、前文の内容とずれている感じがする。
- ・アクション2は、「大人が」はなくてもいいのではないか。

→「市の考え方」

アクションは「大人」が主語であることを踏まえ、表現を修正

修正前	修正後
こどもとは、大人がひざをかがめて 「同じ目線」で	こどもとは、ひざをかがめて 「同じ目線」で ※「大人が」を削除

(3) アクション「3」（こどもを諭(さと)すときには「愛情いちばん」)

（主な市民意見）

- ・「こどもを諭す」の言葉は意味が難しいので少しやわらかい表現に変えるといいのではないか
- ・「諭す」という言葉が難しいように感じた

→「市の考え方」

できるだけ分かりやすくなるような表現に修正

修正前	修正後
こどもを諭(さと)すときには 「愛情いちばん」	こどもに <u>教え</u> 諭(さと)すときには 「愛情いちばん」

(4) アクション「5」(こどもの周りには、いつもたくさんの「ありがとう」)

(主な市民意見)

- ・その後の行動に繋がりやすいよう、何か助詞があった方がいい
- ・「ありがとう」の後に「を」を入れると、聞いた人が「ありがとう」を「広げよう」や「溢れさせよう」など行動の幅が広がるのではないか

→「市の考え方」

聞いた人が「自分もやってみよう」と思えるような表現に修正

修正前	修正後
こどもの周りには、 いつもたくさんの「ありがとう」	こどもの周りには、 いつもたくさんの「ありがとう」 <u>を</u>